

## 加賀看護学校移転新築に係る準備・建設期間について

## ◆移転建設の必要性

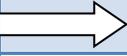
現在、市内への看護師の供給数の多くは、加賀看護学校出身者が占めており、少子化及び近隣看護大学の開設により入学者数の減少が懸念されているが、現段階ではその影響はわずかである。

また、加賀看護学校及び近隣の公立小松大学においても、市外からの入学者が過半数を占めており、学生確保の方策は重要課題である。加賀市医療センターでは就職すれば返還不要となる「修学資金制度」を行っているが、応募者は加賀看護学生が多く、その他の看護師養成学校生からの応募は少ない。

看護学校は実習施設と隣接されていることが一般的であるが、現在の加賀看護学校は実習施設である加賀市医療センターと離れていることから、学生にとって学校と病院を行き来する負担が大きく、交通の便も良くない。加賀市医療センターと併設することにより、実習に非常に便利になり、公共交通機関の便も良い。

以上の状況から、加賀市医療センター及び加賀市内の看護師確保のためには、魅力ある看護学校を運営するため、一年でも早く加賀市医療センターに併設することが必要である。

## ◆準備・建設スケジュール（案）

項目	初年度	2年目	3年目	4年目
内部調査 基本計画				
基本設計	3ヶ月 			
実施設計		6ヶ月 		
建築確認 事業費見直し		3ヶ月 		
建築工事 工事監理 計器・備品費			14ヶ月 	
移転業務			1ヶ月 	
開校				